

平成28年度  
町民アンケート調査結果

菰野町

# 目 次

<b>調査の概要</b> .....	<b>2</b>
1. 調査の目的	
2. 調査の設計	
3. 回収結果	
4. 注意事項	
<b>調査結果</b> .....	<b>3</b>
1. あなたご自身のことについて .....	3
2. 菰野町の住みやすさについて .....	5
3. 定住意向について .....	7
4. 分野別の質問について .....	10

**調査の概要****1. 調査の目的**

本調査は、町行政の各分野での町民のニーズを把握し、町政運営に反映していくために行いました。

**2. 調査の設計**

①調査対象地域	町内全域
②調査対象者	平成 28 年 9 月末現在、20 歳以上の町民
③調査方法	調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収
④調査期間	平成 28 年 10 月 4 日～平成 28 年 10 月 31 日

**3. 回収結果**

	配布数	回収数	回収率
配布・回収数	800	466	58.3%

**4. 注意事項**

集計は、すべてパーセントで示しましたが、小数点第 2 位で四捨五入しているため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合があります。

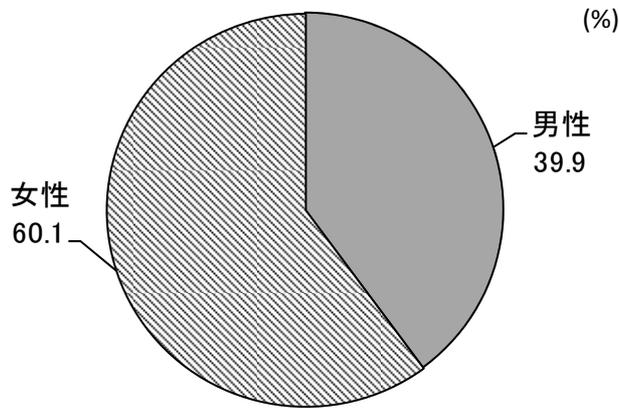
複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

グラフおよび表の《有効回答者数》は、「無回答」や「不明」を除く有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

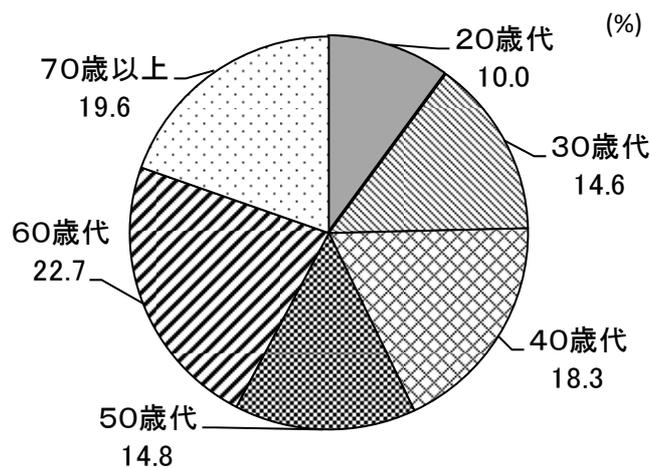
**調査結果**

**1. あなたご自身のことについて**

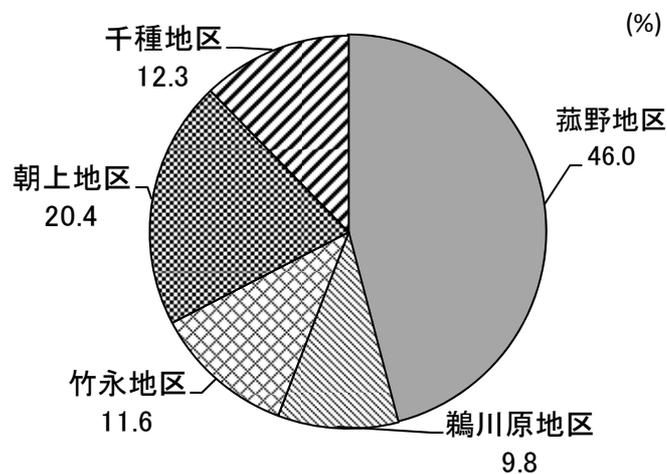
**1. 性別《有効回答者数=459》〔択一回答〕**



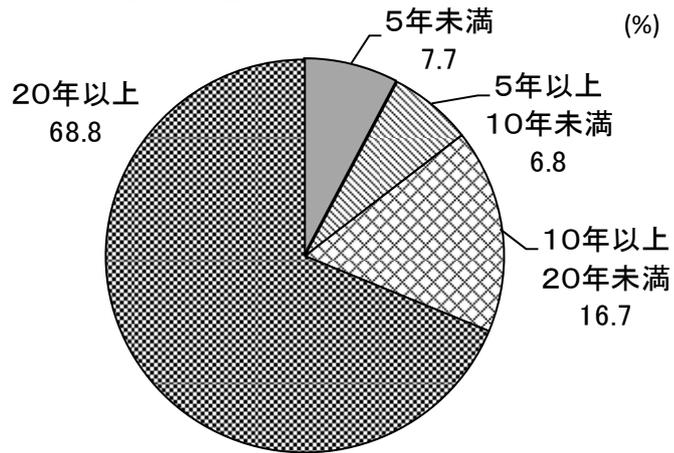
**2. 年齢《有効回答者数=459》〔択一回答〕**



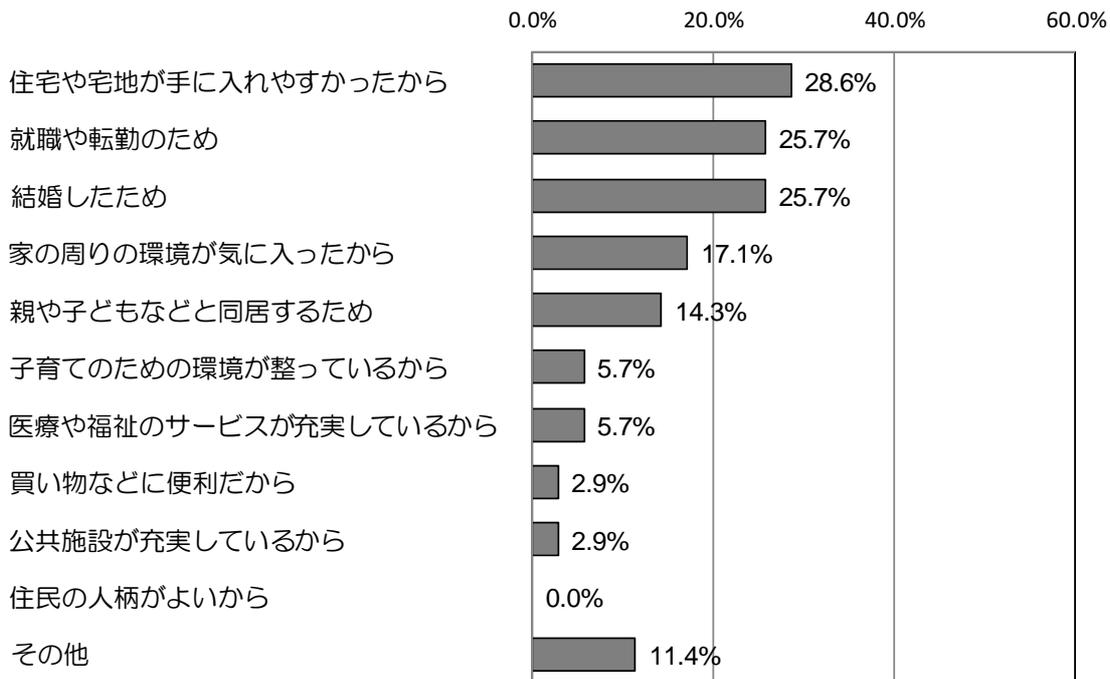
**3. 居住地区《有効回答者数=457》〔択一回答〕**



4. 居住年数《有効回答者数=455》〔択一回答〕



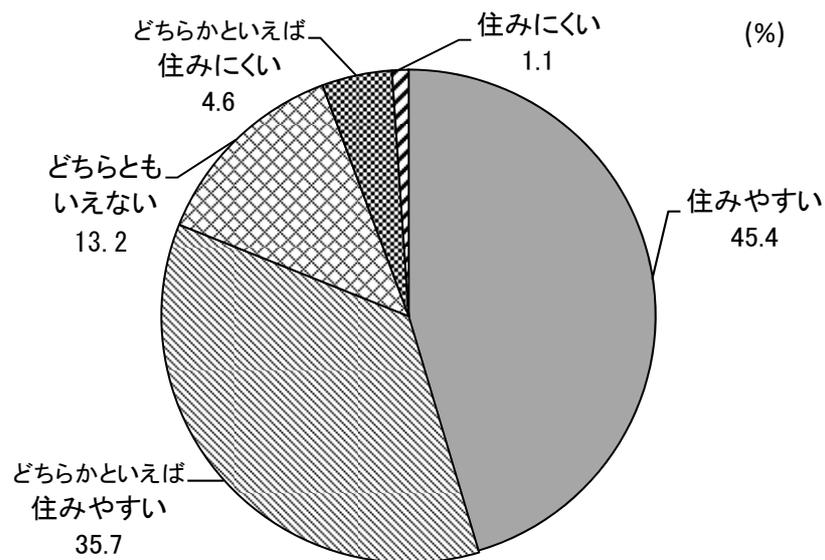
4-1) 4で「1. 5年未満」を選んだ方におうかがいします。  
移住したきっかけは何ですか。《有効回答者数=35》〔複数回答3つまで〕



## 2. 菟野町の住みやすさについて

### 問1 あなたにとって、菟野町は住みやすいですか。《有効回答者数=460》〔択一回答〕

菟野町に対する印象は、「住みやすい」が 45.4%、「どちらかといえば住みやすい」が 35.7%と、合わせて8割強（81.1%）の人が『住みやすさ』を感じています。一方、「住みにくい」が 1.1%、「どちらかといえば住みにくい」が 4.6%と、合わせて『住みにくさ』を感じている人はわずかに 5.7%となっています。



年齢別にみると、『住みやすさ』を感じている人は、「70 歳代」では 91.1%に上り、最も多くなっています。一方、『住みにくさ』を感じている人は「40 歳代」で 11.9%あり、他の年代に比べ多くなっています。

地区別にみると、『住みやすさ』を感じている人は「菰野地区」では 88.0%に上り、最も多くなっています。一方、『住みにくさ』を感じている人は「朝上地区」で 14.0%あり、他の地区に比べ多くなっています。

## 【年齢別】

上段:回答数 下段:%	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1. 住みやすい	18 39.1	31 46.3	35 41.7	34 50.0	43 41.3	48 53.3
2. どちらかといえば住みやすい	22 47.8	23 34.3	29 34.5	24 35.3	32 30.8	34 37.8
3. どちらともいえない	6 13.0	8 11.9	10 11.9	8 11.8	23 22.1	5 5.6
4. どちらかといえば住みにくい	0 0.0	5 7.5	7 8.3	2 2.9	6 5.8	1 1.1
5. 住みにくい	0 0.0	0 0.0	3 3.6	0 0.0	0 0.0	2 2.2
合 計	46 100.0	67 100.0	84 100.0	68 100.0	104 100.0	90 100.0

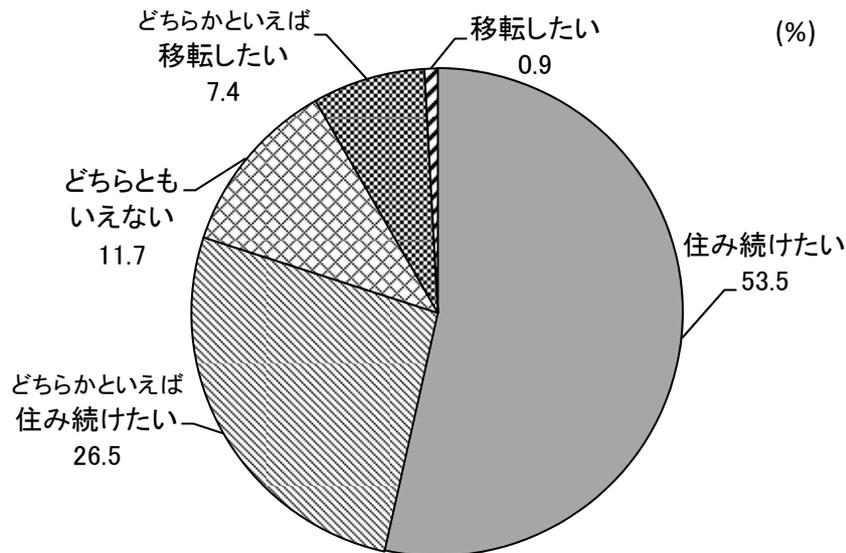
## 【居住地別】

上段:回答数 下段:%	菰野地区	鶴川原地区	竹永地区	朝上地区	千種地区
1. 住みやすい	110 52.6	22 48.9	23 43.4	24 25.8	28 50.0
2. どちらかといえば住みやすい	74 35.4	16 35.6	17 32.1	36 38.7	20 35.7
3. どちらともいえない	19 9.1	4 8.9	11 20.8	20 21.5	6 10.7
4. どちらかといえば住みにくい	5 2.4	3 6.7	1 1.9	10 10.8	2 3.6
5. 住みにくい	1 0.5	0 0.0	1 1.9	3 3.2	0 0.0
合 計	209 100.0	45 100.0	53 100.0	93 100.0	56 100.0

### 3. 定住意向について

#### 問2 あなたは今後も菟野町に住みたいと思いますか。《有効回答者数=460》〔択一回答〕

将来の定住意向は、「住み続けたい」が 53.5%、「どちらかといえば住み続けたい」が 26.5%と、合わせて8割（80.0%）の人が『住み続けたい』と考えています。一方、「移転したい」が 0.9%、「どちらかといえば移転したい」が 7.4%と、合わせて 8.3%の人が『移転したい』と考えています。



年齢別にみると、『住み続けたい』と考えている人の割合は、昨年に続き「70 歳以上」で最も多く 90.0%に上ります。一方、『移転したい』と考えている人は「40 歳代」で 14.3%あり、他の年代に比べ多くなっています。

地区別にみると、『住み続けたい』と考えている人は「菰野地区」「鶴川原地区」では 80%を上回り、他の 3 地区でも 70%を上回っています。一方、『移転したい』と考えている人は「朝上地区」で 18.3%あり、他の地区に比べ多くなっています。これは、交通機関などの利便性が影響していると見受けられます。

## 【年齢別】

上段:回答数 下段:%	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1. 住み続けたい	15 32.6	32 47.8	38 45.2	38 55.9	55 52.9	68 75.6
2. どちらかといえば住み続けたい	20 43.5	21 31.3	20 23.8	15 22.1	32 30.8	13 14.4
3. どちらともいえない	8 17.4	8 11.9	14 16.7	10 14.7	10 9.6	4 4.4
4. どちらかといえば移転したい	3 6.5	6 9.0	9 10.7	4 5.9	7 6.7	5 5.6
5. 移転したい	0 0.0	0 0.0	3 3.6	1 1.5	0 0.0	0 0.0
合 計	46 100.0	67 100.0	84 100.0	68 100.0	104 100.0	90 100.0

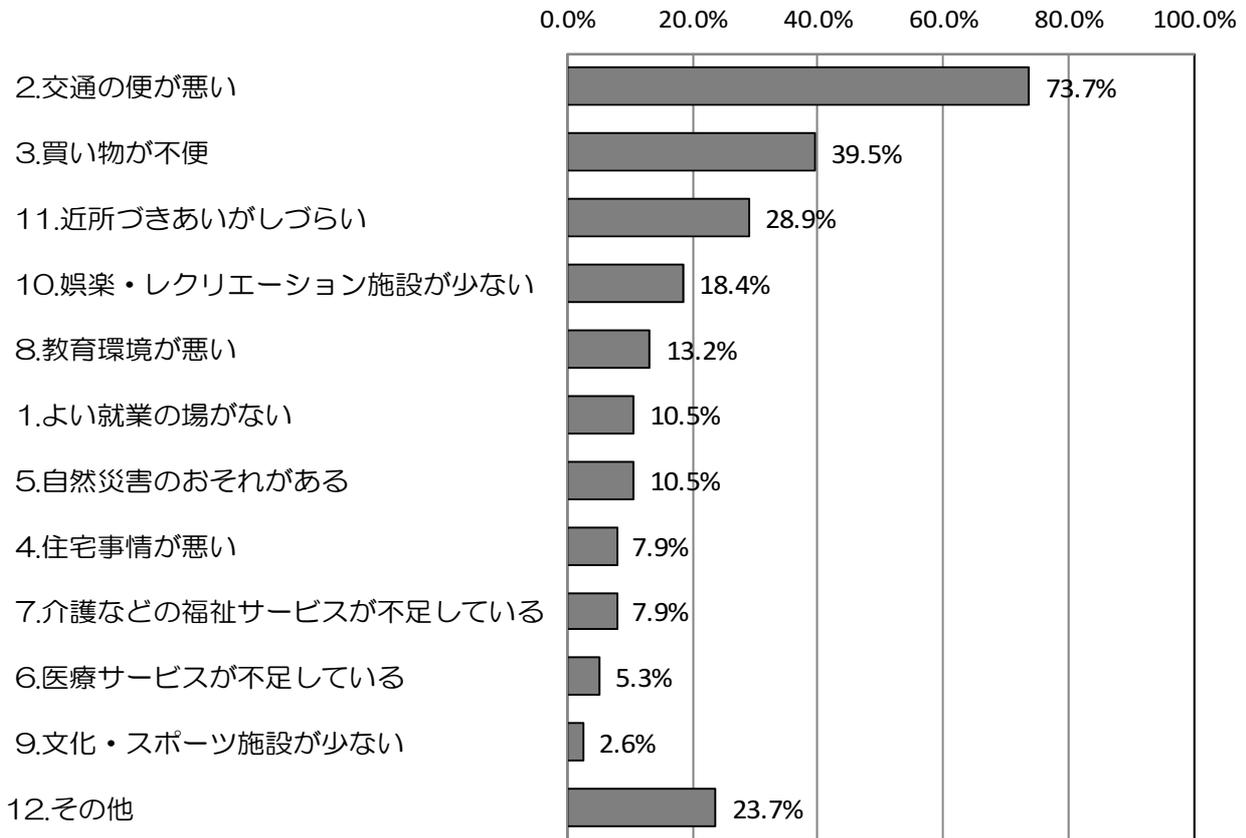
## 【居住地別】

上段:回答数 下段:%	菰野地区	鶴川原地区	竹永地区	朝上地区	千種地区
1. 住み続けたい	117 56.0	25 55.6	26 49.1	45 48.4	31 55.4
2. どちらかといえば住み続けたい	58 27.8	12 26.7	14 26.4	23 24.7	13 23.2
3. どちらともいえない	26 12.4	4 8.9	8 15.1	8 8.6	8 14.3
4. どちらかといえば移転したい	8 3.8	4 8.9	5 9.4	13 14.0	4 7.1
5. 移転したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 4.3	0 0.0
合 計	209 100.0	45 100.0	53 100.0	93 100.0	56 100.0

問2-(1) 問2で「4. どちらかといえば移転したい」または「5. 移転したい」を選んだ方におうかがいします。

移転したいと思う理由は何ですか。《有効回答者数=38》〔複数回答3つまで〕

移転したい理由は、「交通の便が悪い」が73.7%で最も多く、次いで、「買い物が不便」が39.5%、「近所づきあいがしづらい」が28.9%と続いています。



## 4. 分野別の質問について

問3 以下に掲げたそれぞれの項目は、菟野町が目指すべき社会の状態を表しています。

### 重要意識

あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。〔択一回答〕

《生活安全分野》については、『重要』（「非常に重要」と「重要」の合計）とする人の割合は、「(5)消費生活の安全を守る対策が整っている」を除いて高くなっています。

《子育て、健康・福祉、人権分野》については、「(7)健康教室や各種検診の内容が充実している」や「(8)介護・福祉サービスが充実している」などが高くなっています。

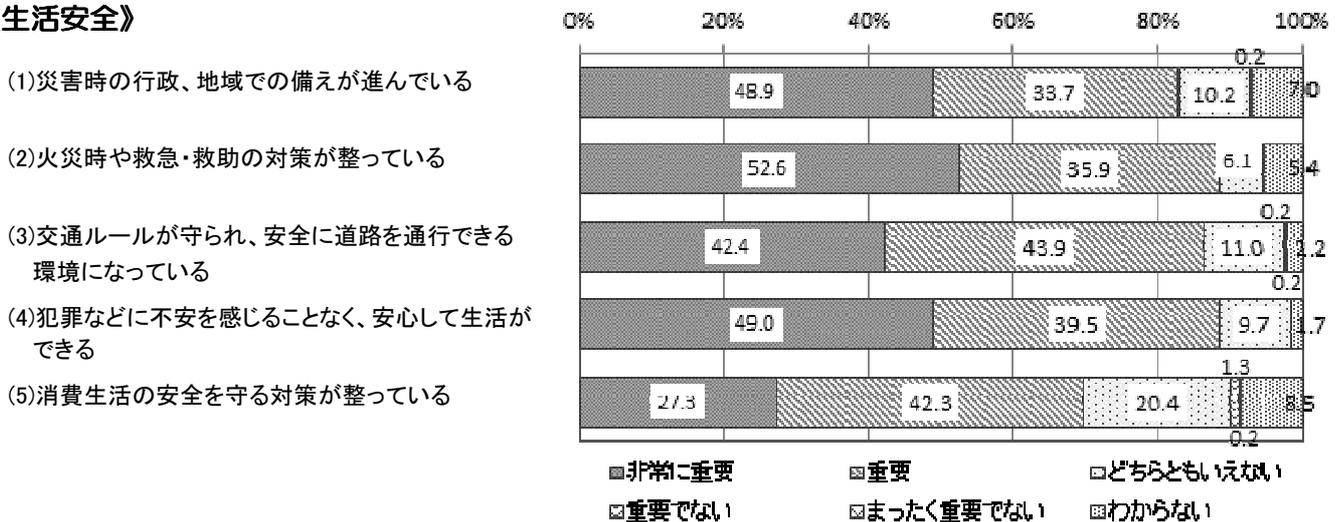
《環境、都市基盤分野》については、「(20)水道水が安全で安定して供給されている」が全36項目のなかで最も高く、次いで「(19)下水道が整備され、衛生的である」、「(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている」、「(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある」、「(23)公共交通機関が利用しやすい」などとなっています。

《教育、文化・スポーツ分野》については、「(25)学校教育の環境や取り組みが充実している」や「(26)青少年が健全に育成されている」などで多くなっています。

《観光、産業分野》については、いずれの項目も『重要』とする人の割合は5～6割となっており、他の分野に比べて少なくなっています。

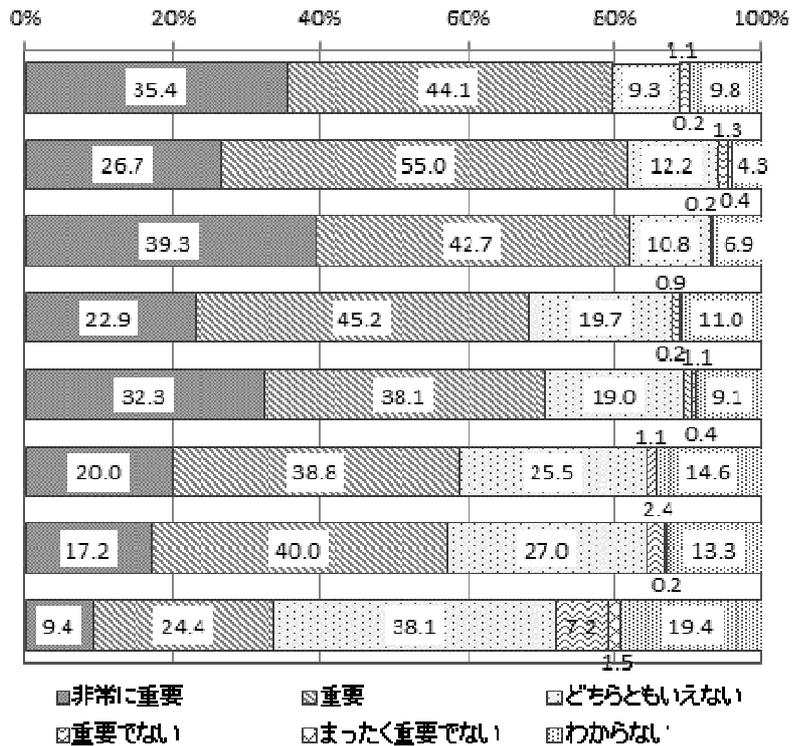
《住民参画、行財政分野》については、「(35)健全な財政運営が行われている」や「(36)効率的な行政運営が行われている」などで多くなっています。

### 《生活安全》



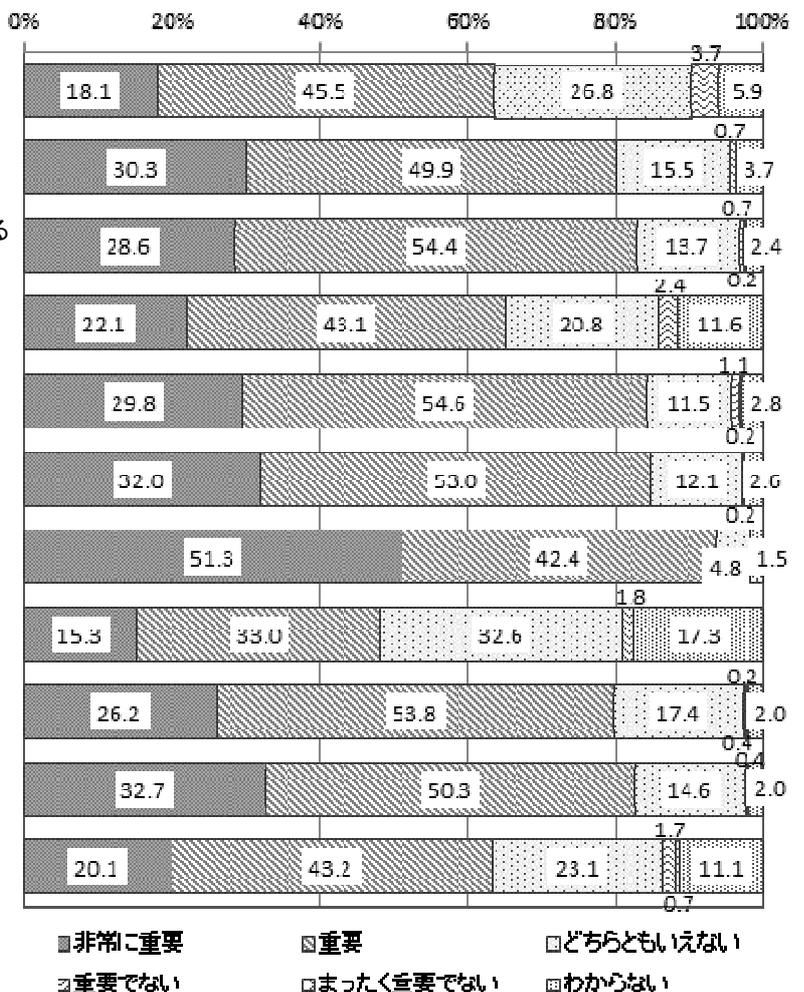
《子育て、健康・福祉、人権》

- (6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している
- (7)健康教室や各種検診の内容が充実している
- (8)介護・福祉サービスが充実している
- (9)高齢者や障がい者の活躍の場がある
- (10)最低限の生活が保障されていると感られる
- (11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる
- (12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている
- (13)国際交流が活発に行われている



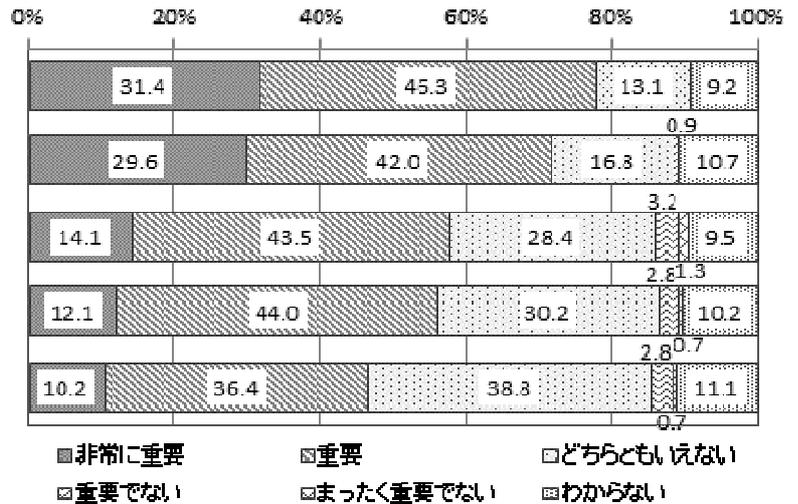
《環境、都市基盤》

- (14)計画的に町並みや景観が整備されている
- (15)安心して快適な居住空間が確保されている
- (16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある
- (17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる
- (18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている
- (19)下水道が整備され、衛生的である
- (20)水道水が安全で安定して供給されている
- (21)地域の特色にあった土地利用が行われている
- (22)主要な道路や生活道路が整っている
- (23)公共交通機関が利用しやすい
- (24)情報通信基盤が整っている



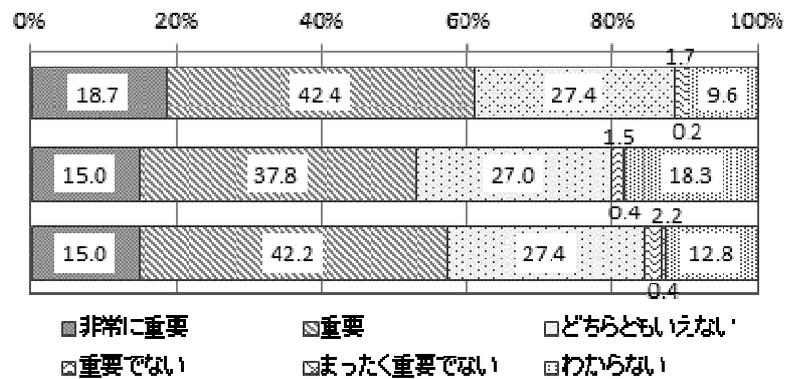
《教育、文化・スポーツ》

- (25)学校教育の環境や取り組みが充実している
- (26)青少年が健全に育成されている
- (27)公民館などの施設や行事内容が充実している
- (28)スポーツ施設や活動内容が充実している
- (29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している



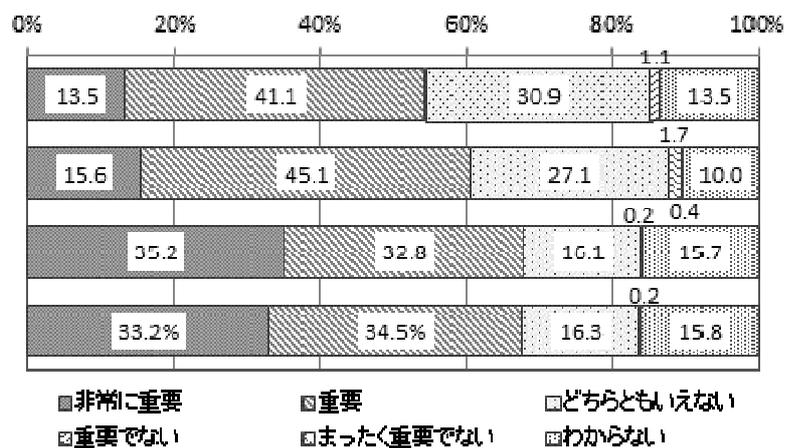
《観光、産業》

- (30)まちの観光資源が有効に活用されている
- (31)農地や山林の資源が有効に活用されている
- (32)商店や企業の活動が活発に行われている



《住民参画、行財政》

- (33)住民の力がまちづくりに活かされている
- (34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい
- (35)健全な財政運営が行われている
- (36)効率的な行政運営が行われている



下記の方法により平均点を算出すると、《生活安全分野》は「(5)消費者保護対策」のみを除いて上位に位置しており、重要意識の高さが目立っています。《子育て、福祉・健康、人権分野》では項目によってバラつきが大きくなっていますが「(8)福祉サービス」、「(6)子育て環境」に対する重要意識が高くなっています。《環境、都市基盤分野》では「(20)飲料水の供給」「(19)排水対策」「(23)公共交通機関」「(18)ごみの減量」など生活に密着することが高くなっています。《教育、文化・スポーツ分野》では「(25)学校教育」、「(26)青少年の健全育成」など、若年層向けの施策が重要視されています。《観光、産業分野》はいずれも中位以下に留まっています。《住民参画、行財政分野》は「(35)財政運営」と「(36)行政運営」の重要意識が高くなっています。

**項目間比較**

※ 単純比較するため、「非常に重要」を5点、「重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「重要でない」を2点、「まったく重要でない」を1点とし、「わからない」などを除いて平均を出し、点数順に並べたもの。次ページ以降の「年齢別」「地区別」も同様の方法によって点数化した。



## 【年齢別】

【生活安全】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	4.50	4.52	4.45	4.38	4.44	4.25
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	4.67	4.59	4.49	4.48	4.47	4.37
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	4.50	4.49	4.35	4.31	4.23	4.11
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	4.62	4.66	4.51	4.35	4.23	4.24
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	4.20	4.27	3.96	3.95	4.02	3.96

【子育て、健康・福祉、人権】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	4.45	4.46	4.26	4.22	4.18	4.07
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	4.36	4.15	4.08	4.11	4.00	4.16
(8)介護・福祉サービスが充実している	4.56	4.30	4.33	4.34	4.21	4.25
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	4.27	4.18	4.07	3.95	3.87	3.90
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	4.49	4.31	4.04	4.13	3.91	4.04
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	4.10	4.05	3.93	3.80	3.88	3.79
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	4.05	4.05	3.76	3.54	3.88	3.74
(13)国際交流が活発に行われている	3.66	3.66	3.19	3.09	3.47	3.45

【環境、都市基盤】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	4.07	3.98	3.88	3.72	3.71	3.76
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	4.47	4.39	4.16	4.08	4.03	3.94
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	4.37	4.20	4.05	4.13	4.01	4.20
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	4.13	4.07	4.03	3.75	3.93	3.91
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	4.20	4.17	4.16	4.07	4.20	4.15
(19)下水道が整備され、衛生的である	4.49	4.26	4.10	4.10	4.17	4.21
(20)水道水が安全で安定して供給されている	4.61	4.53	4.45	4.49	4.40	4.46
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	4.02	3.91	3.62	3.50	3.72	3.81
(22)主要な道路や生活道路が整っている	4.39	4.33	4.00	3.99	4.00	3.91
(23)公共交通機関が利用しやすい	4.51	4.34	4.19	4.10	4.04	4.11
(24)情報通信基盤が整っている	4.25	4.02	3.86	3.89	3.76	3.86

【教育、文化・スポーツ】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	4.38	4.44	4.28	4.07	4.08	4.08
(26)青少年が健全に育成されている	4.31	4.40	4.10	3.98	4.05	4.03
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	4.00	3.68	3.65	3.48	3.66	3.99
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.93	3.72	3.75	3.55	3.57	3.89
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.98	3.67	3.53	3.36	3.46	3.74

【観光、産業】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	4.16	3.97	3.77	3.82	3.71	3.88
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	4.23	3.89	3.67	3.62	3.76	3.80
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	4.16	3.89	3.74	3.65	3.72	3.76

【住民参画、行財政】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	4.07	3.73	3.85	3.73	3.70	3.70
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	4.09	3.97	3.80	3.69	3.71	3.79
(35)健全な財政運営が行われている	4.39	4.34	4.19	4.17	4.28	4.06
(36)効率的な行政運営が行われている	4.37	4.28	4.19	4.05	4.25	4.12

注： ■ 全体より+0.20点以上、 ■ 全体より-0.20点以下

## 【地区別】

【生活安全】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	4.46	4.43	4.48	4.33	4.33
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	4.48	4.53	4.56	4.47	4.52
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	4.30	4.34	4.37	4.27	4.30
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	4.43	4.37	4.53	4.32	4.36
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	4.11	4.08	4.18	3.98	3.80

【子育て、健康・福祉、人権】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	4.24	4.33	4.50	4.20	4.14
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	4.17	4.26	4.21	3.91	4.09
(8)介護・福祉サービスが充実している	4.32	4.37	4.41	4.24	4.25
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	4.02	4.12	4.15	3.95	3.92
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	4.08	4.17	4.22	4.12	4.04
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.93	4.03	3.98	3.87	3.77
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.83	3.95	3.89	3.78	3.71
(13)国際交流が活発に行われている	3.39	3.65	3.49	3.29	3.41

【環境、都市基盤】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	3.84	4.00	4.00	3.55	3.98
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	4.16	4.12	4.26	4.06	4.13
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	4.15	4.09	4.20	4.02	4.24
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	4.01	3.89	4.00	3.99	3.81
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	4.16	4.14	4.22	4.08	4.28
(19)下水道が整備され、衛生的である	4.23	4.21	4.10	4.18	4.20
(20)水道水が安全で安定して供給されている	4.45	4.49	4.44	4.53	4.51
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.77	3.76	3.80	3.67	3.73
(22)主要な道路や生活道路が整っている	4.10	4.02	4.12	4.00	4.12
(23)公共交通機関が利用しやすい	4.20	4.12	4.16	4.21	4.15
(24)情報通信基盤が整っている	3.97	3.83	3.85	3.77	4.02

【教育、文化・スポーツ】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	4.23	4.26	4.21	4.14	4.20
(26)青少年が健全に育成されている	4.12	4.23	4.32	4.08	3.98
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.80	3.79	3.66	3.51	3.83
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.76	3.80	3.69	3.54	3.79
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.62	3.59	3.57	3.51	3.66

【観光、産業】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	3.92	3.79	3.79	3.80	3.81
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	3.79	3.79	3.70	3.88	3.87
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	3.80	3.92	3.77	3.81	3.67

【住民参画、行財政】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	3.83	3.87	3.73	3.70	3.72
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.84	3.90	3.79	3.78	3.76
(35)健全な財政運営が行われている	4.28	4.15	4.19	4.26	4.17
(36)効率的な行政運営が行われている	4.25	4.13	4.09	4.27	4.11

注： ■ 全体より+0.20点以上、 ■ 全体より-0.20点以下

**満足意識**

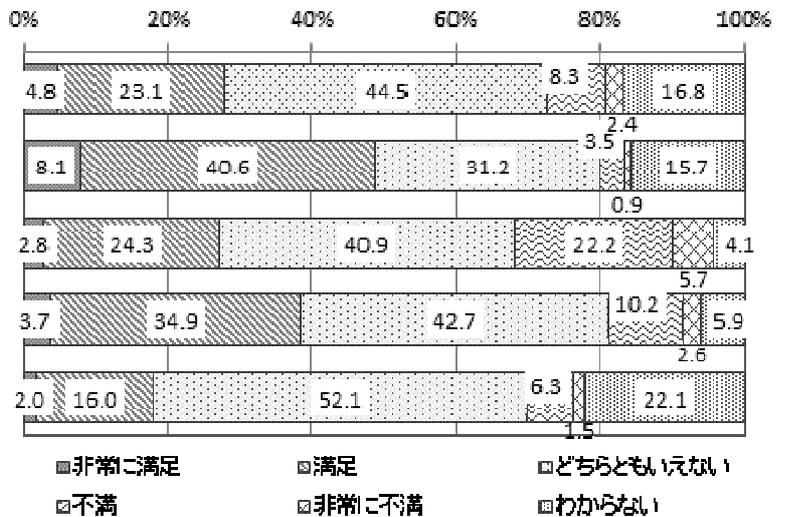
あなたは、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取り組みに対して、どのくらい満足されていますか。〔択一回答〕

『満足』（「非常に満足」と「満足」の合計）とする人の割合が5割を超えている項目は、《子育て、健康・福祉、人権分野》の「(7)健康教室や各種検診の内容が充実している」、《環境、都市基盤分野》の「(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある」、「(19)下水道が整備され、衛生的である」、「(20)水道水が安全で安定して供給されている」などとなっています。

対して、「(13)国際交流が活発に行われている」は最も低く、この項目のみ1割未満となっています。

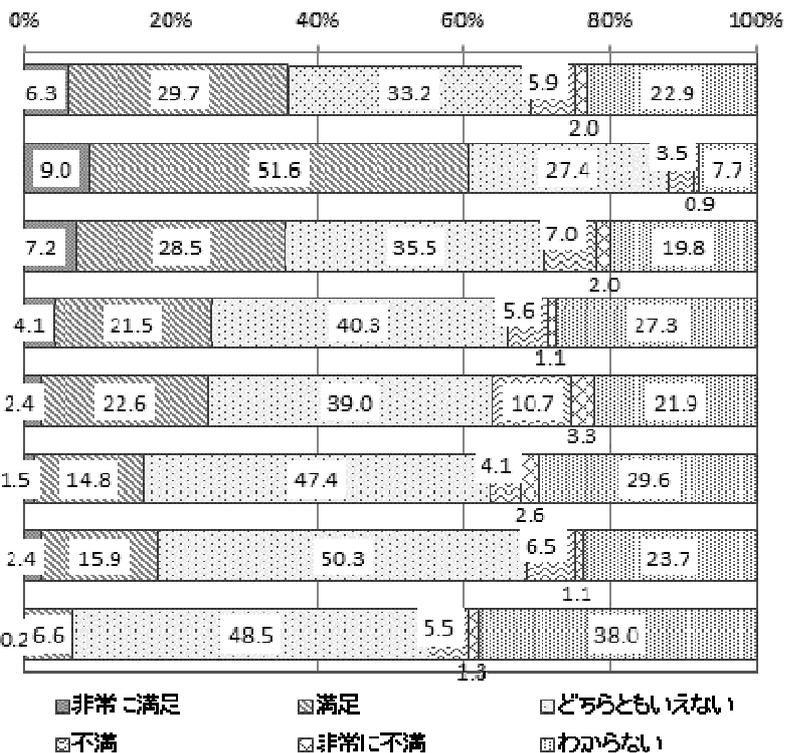
**《生活安全》**

- (1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる
- (2)火災時や救急・救助の対策が整っている
- (3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている
- (4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる
- (5)消費生活の安全を守る対策が整っている

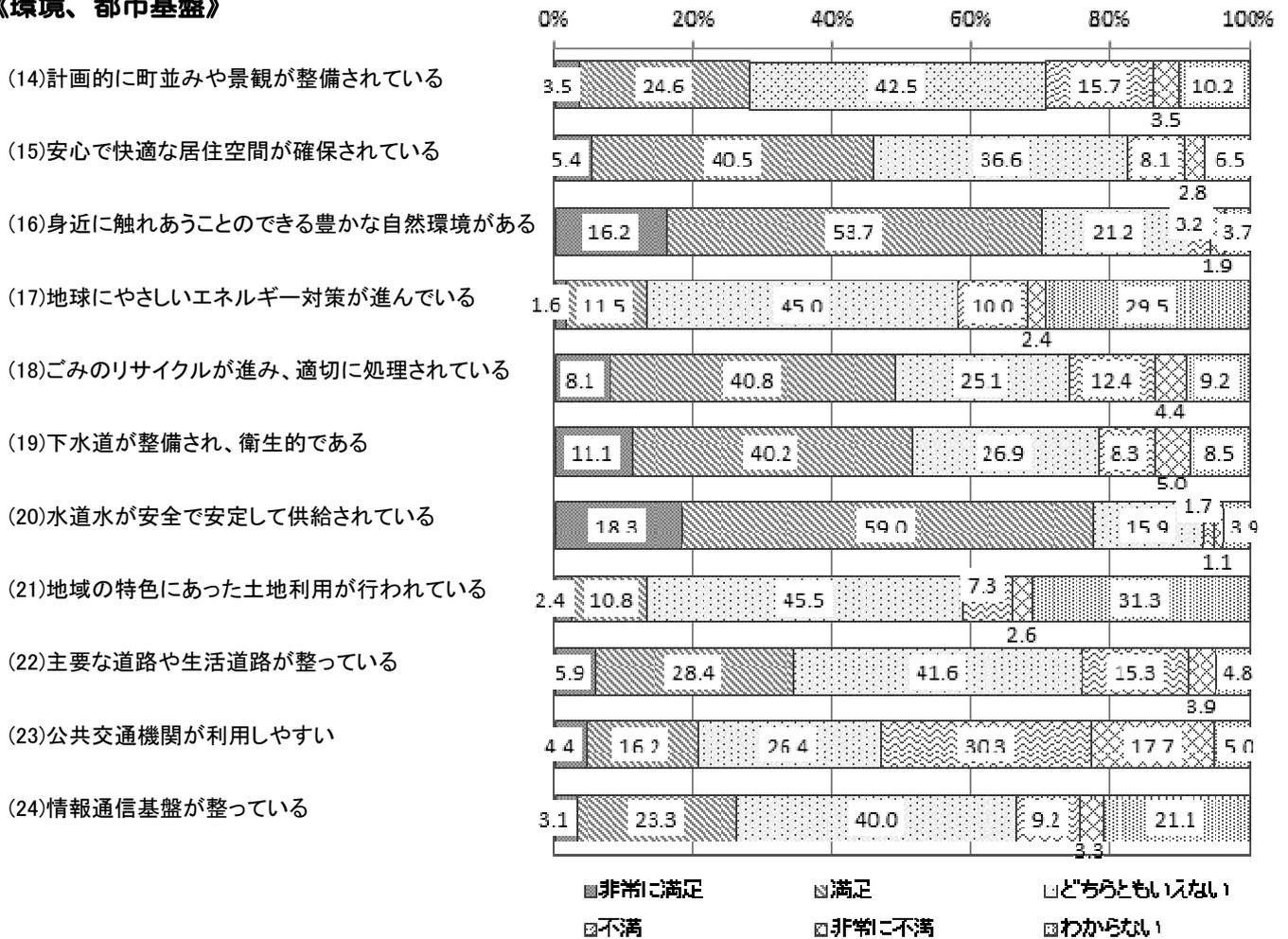


**《子育て、健康・福祉、人権》**

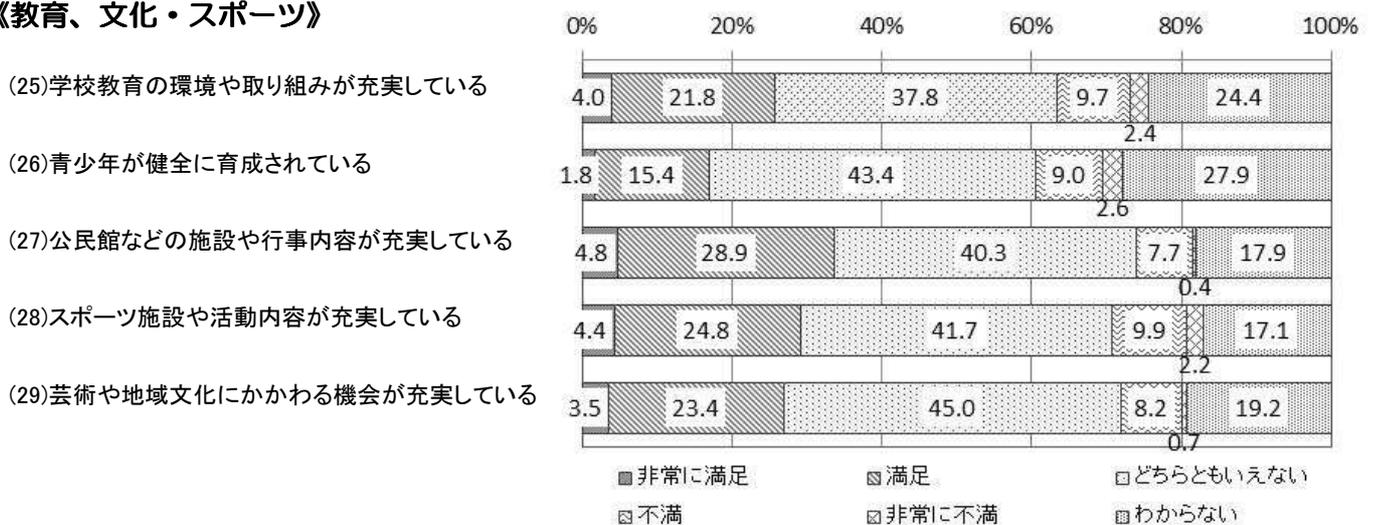
- (6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している
- (7)健康教室や各種検診の内容が充実している
- (8)介護・福祉サービスが充実している
- (9)高齢者や障がい者の活躍の場がある
- (10)最低限の生活が保障されていると感られる
- (11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる
- (12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている
- (13)国際交流が活発に行われている



《環境、都市基盤》

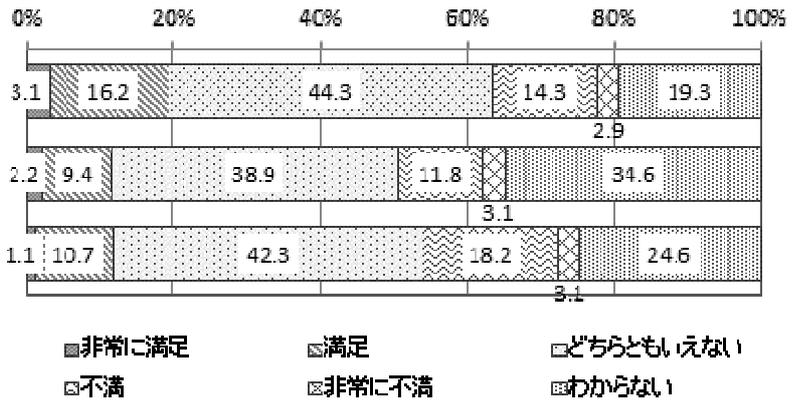


《教育、文化・スポーツ》



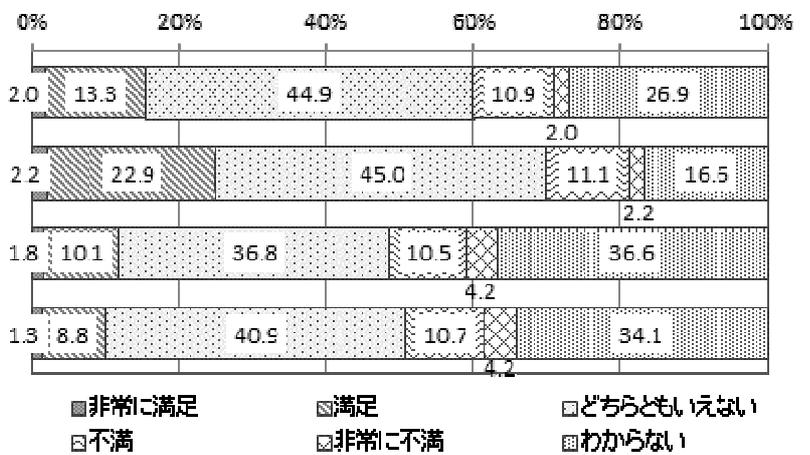
《観光、産業》

- (30) まちの観光資源が有効に活用されている
- (31) 農地や山林の資源が有効に活用されている
- (32) 商店や企業の活動が活発に行われている



《住民参画、行財政》

- (33) 住民の力がまちづくりに活かされている
- (34) まちのことで知りたい情報が手に入りやすい
- (35) 健全な財政運営が行われている
- (36) 効率的な行政運営が行われている



下記の方法により平均点を算出すると、《生活安全分野》は項目によって満足度にバラつきがみられました。《子育て、健康・福祉、人権分野》は「(7)保健予防体制」をはじめとして、子育て、健康・福祉に関するものが比較的上位に位置しています。《環境、都市基盤分野》では「(20)飲料水の供給」「(16)自然環境との共生」への満足度が高い反面「(23)公共交通機関」は最下位であるなど、項目によって大きく開きがあります。《教育、文化・スポーツ分野》は上位～中位に位置しています。《観光、産業分野》はいずれも下位に、《住民参画、行財政分野》は中位～下位に位置しています。

**項目間比較**

※ 単純比較するため、「非常に満足」を5点、「満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「不満」を2点、「非常に不満」を1点とし、「わからない」などを除いて平均を出し、点数順に並べたもの。次ページ以降の「年齢別」「地区別」も同様の方法によって点数化した。



## 【年齢別】

【生活安全】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	3.33	3.36	3.13	3.28	3.02	3.43
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	3.57	3.46	3.51	3.54	3.66	3.79
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	3.30	2.83	2.84	2.84	2.84	3.24
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	3.40	3.31	3.24	3.15	3.26	3.38
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	3.22	3.26	3.14	3.02	3.01	3.23

【子育て、健康・福祉、人権】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	3.56	3.41	3.49	3.31	3.32	3.48
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	3.71	3.70	3.69	3.66	3.63	3.85
(8)介護・福祉サービスが充実している	3.53	3.46	3.37	3.29	3.29	3.58
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	3.46	3.51	3.35	3.14	3.01	3.46
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	3.48	3.11	3.08	3.13	2.89	3.33
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.23	3.23	3.23	2.96	3.11	3.03
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.27	3.15	3.25	2.98	3.01	3.34
(13)国際交流が活発に行われている	3.00	3.09	3.02	2.98	2.87	3.04

【環境、都市基盤】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	3.38	3.12	3.19	2.95	2.92	3.21
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	3.66	3.48	3.35	3.31	3.24	3.54
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	4.11	4.06	3.76	3.73	3.57	3.89
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	3.13	3.17	2.86	3.15	2.80	3.07
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	3.29	3.27	3.31	3.34	3.40	3.70
(19)下水道が整備され、衛生的である	3.76	3.34	3.39	3.61	3.19	3.77
(20)水道水が安全で安定して供給されている	4.09	3.94	3.73	4.02	3.93	4.07
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.30	3.29	2.87	2.90	2.88	3.17
(22)主要な道路や生活道路が整っている	3.33	3.17	3.14	3.11	3.19	3.14
(23)公共交通機関が利用しやすい	2.56	2.52	2.44	2.45	2.51	2.94
(24)情報通信基盤が整っている	3.37	3.25	3.05	3.30	2.97	3.25

【教育、文化・スポーツ】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	3.28	3.19	3.06	3.26	3.16	3.32
(26)青少年が健全に育成されている	3.20	3.06	2.91	3.07	3.01	3.26
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.46	3.44	3.32	3.33	3.26	3.48
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.35	3.33	3.28	3.07	3.05	3.46
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.35	3.30	3.35	3.11	3.09	3.40

【観光、産業】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	3.35	3.37	3.07	2.81	2.73	3.13
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	3.40	3.28	3.04	2.71	2.63	2.85
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	2.95	3.04	2.95	2.71	2.69	2.89

【住民参画、行財政】	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	3.11	3.19	3.14	2.87	2.81	3.18
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.21	3.32	3.12	3.11	3.00	3.21
(35)健全な財政運営が行われている	3.23	2.90	2.75	2.79	2.84	3.12
(36)効率的な行政運営が行われている	3.19	2.93	2.79	2.82	2.72	2.98

注：  全体より+0.20点以上、  全体より-0.20点以下

## 【地区別】

【生活安全】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(1)災害時の行政、地域での備えが進んでいる	3.26	3.41	3.16	3.12	3.30
(2)火災時や救急・救助の対策が整っている	3.60	3.57	3.51	3.56	3.82
(3)交通ルールが守られ、安全に道路を通行できる環境になっている	2.92	3.13	3.12	2.90	2.91
(4)犯罪などに不安を感じることなく、安心して生活ができる	3.35	3.45	3.18	3.16	3.18
(5)消費生活の安全を守る対策が整っている	3.21	3.09	3.16	3.00	3.05

【子育て、健康・福祉、人権】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(6)子育ての相談機会や保育サービスが充実している	3.48	3.31	3.54	3.26	3.39
(7)健康教室や各種検診の内容が充実している	3.72	3.67	3.60	3.71	3.77
(8)介護・福祉サービスが充実している	3.43	3.39	3.38	3.40	3.40
(9)高齢者や障がい者の活躍の場がある	3.37	3.28	3.28	3.22	3.29
(10)最低限の生活が保障されていると感じられる	3.22	3.16	3.13	3.01	2.97
(11)人権擁護や人権意識の啓発が進んでいる	3.16	3.24	3.05	3.10	3.00
(12)男女が平等に社会参加できる環境が整っている	3.20	3.31	2.97	3.14	3.09
(13)国際交流が活発に行われている	3.05	2.93	3.00	2.88	2.97

【環境、都市基盤】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(14)計画的に町並みや景観が整備されている	3.11	2.93	3.13	3.17	3.14
(15)安心して快適な居住空間が確保されている	3.48	3.43	3.10	3.45	3.32
(16)身近に触れあうことのできる豊かな自然環境がある	3.87	3.76	3.60	3.90	3.80
(17)地球にやさしいエネルギー対策が進んでいる	2.97	3.00	3.00	3.00	3.08
(18)ごみのリサイクルが進み、適切に処理されている	3.43	3.35	3.17	3.43	3.56
(19)下水道が整備され、衛生的である	3.58	3.74	2.96	3.34	3.65
(20)水道水が安全で安定して供給されている	3.96	3.95	3.79	3.97	4.04
(21)地域の特色にあった土地利用が行われている	3.06	2.93	3.05	3.05	3.00
(22)主要な道路や生活道路が整っている	3.21	3.26	3.04	3.11	3.22
(23)公共交通機関が利用しやすい	2.96	2.38	2.06	2.12	2.56
(24)情報通信基盤が整っている	3.29	3.00	2.98	3.16	3.13

【教育、文化・スポーツ】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(25)学校教育の環境や取り組みが充実している	3.22	3.24	3.18	3.09	3.30
(26)青少年が健全に育成されている	3.03	3.34	3.16	2.97	3.03
(27)公民館などの施設や行事内容が充実している	3.42	3.27	3.30	3.33	3.37
(28)スポーツ施設や活動内容が充実している	3.33	3.16	3.00	3.09	3.43
(29)芸術や地域文化にかかわる機会が充実している	3.32	3.14	3.20	3.23	3.30

【観光、産業】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(30)まちの観光資源が有効に活用されている	3.03	3.03	3.00	3.04	3.09
(31)農地や山林の資源が有効に活用されている	3.00	2.74	2.97	2.88	2.94
(32)商店や企業の活動が活発に行われている	2.89	3.00	2.83	2.76	2.81

【住民参画、行財政】	菟野	鶴川原	竹永	朝上	千種
(33)住民の力がまちづくりに活かされている	3.03	3.29	2.94	2.98	3.03
(34)まちのことで知りたい情報が手に入りやすい	3.14	3.16	3.14	3.12	3.21
(35)健全な財政運営が行われている	2.84	3.03	2.89	3.08	2.92
(36)効率的な行政運営が行われている	2.86	3.00	2.72	2.94	2.86

注： ■ 全体より+0.20点以上、 ■ 全体より-0.20点以下